

新町住宅地 100年の歴史をたどる

桜並木とサザエさんと緑と水と

◆: サザエさん一家の銅像があります

2 長谷川町子美術館 (有料)

・ Y字交差点を右に行くと、区民集会所の少し先にある美術館。長谷川町子さん蒐集の美術品展示のほか、サザエさん関連展示もあります。サザエさんグッズも豊富!!

・ サザエさんの作者長谷川町子さんは、このまちに住み、サザエさん一家もこのまちに住んでいる設定でした。

1 桜新町区民集会所と「信託住宅発祥地」の石標

・ 桜新町駅を出て左折、サザエさん通りを歩くと、交番のあるY字交差点に至ります。ここが新町住宅地の入口。区民集会所のある場所は、住民のための施設がありました。信託住宅発祥地の石標もあります。(信託住宅とは、東京信託株が分譲したことから。)

3 桜新町一丁目緑地 (通称サザエさん公園)

・ 長谷川町子美術館の道を隔てた南隣りにある公園。新町住宅地の住宅跡地で、お庭を生かした公園になりました。当時の中規模住宅のお庭の様子が見られます。サザエさん一家の像もあります。



左: 長谷川町子美術館

4 桜並木 (西大通り)

・ 新町住宅地の骨格道路は、Y字交差点から反時計回りに西大通り→南大通り→東大通りと一周してY字交差点に戻る道路でした。分譲初期に桜が植えられ、桜の名所として有名になり、1932(昭和7)年玉電の停留所名が新町から桜新町に変わりました。現在、西・南・東大通り合わせて、約150本の桜が植わっています。

5 深沢八丁目無原罪特別保護区

(春秋の土日の特別公開日のみ公開)
・ 新町住宅地中央部の約3,300坪(約10,900㎡)の若尾障八(東京電燈、後の東京電力の社長になった人)邸跡地の一部、当時の庭園部分が世田谷区の特別保護区に指定されています。

湧水をたたえる池とうっそうとした多様な樹木の緑が豊かです。公開日にはぜひ訪問してください!



6 深沢の杜緑地

・ 特別保護区の道を隔てた南の住宅跡地の一部がお庭や門を生かしつつ新しい木も植えた公園になりました。池の水は、特別保護区内の池の水とつながって、さらに東の呑川に流れていました。開園 8:30、閉園 17:00 (4月~10月) 16:30 (11月~3月)

新町住宅地とは?
関東初の郊外住宅分譲地
1913年に分譲開始
(玉電開通は、1907年)

--- は、新町住宅地のおよその境界



深沢・桜新町 100年史

新町住宅地の分譲開始から100年 私たちのまちは、こうして形づくられました

1913 ~ 2013



深沢・桜新町さくらフォーラム

深沢・桜新町 100年史を刊行
A5版、72ページ、全カラー
500円で大好評発売中

8 呑川親水公園

・ 現在の桜新町駅近くをはじめとする湧水を集めて東京湾に注ぐ呑川。区画整理事業に伴う河川改修の際、1935(昭和10)頃に両岸に桜が植えられました。戦後、下水化しましたが、1993年3月に駒沢通り~玉川通り間の870mが親水公園として開設。「手づくり郷土(ふるさと)賞/人々が集い憩う水辺づくり部門」国土交通大臣表彰



カルガモが見える

7 清明亭 (都立深沢高校内)

(非公開、道路から外観を見学)
・ 若尾邸と並ぶ大邸宅長尾欽彌(わかもと製薬創業者)邸の跡地で、唯一残った1931(昭和6)年竣工の大江新太郎設計の離れ。(東京都歴史的建造物)凝った数奇屋造りです。現在、耐震改修中。改修後、内部見学の機会があれば、ぜひ訪問を!

約200m